

精神保健福祉士として のかかわりを再考する

～「社会的ひきこもり」 の支援から～

日時：12月8日（金）19：30～21：00
12月22日（金）19：30～21：00

会場：ふれあい福祉センター勝賀
高松市香西南町476-1
TEL：087-882-6950

対象：香川県精神保健福祉士協会協会員・
日本精神保健福祉士協会香川支部会員

参加費：2回で500円
（12月8日にいただきます）

締め切り：12月1日

申し込み：香川県精神保健福祉士協会HPから
<https://www.mhsw-kagawa.com/>



社会的ひきこもり状態にある人は年々増え続け、令和4年内閣府の調査においては推計146万人に達しました。「社会的ひきこもり」が社会問題になるずっと以前から、精神保健福祉士はひきこもり状態にある方とのかかわりを続けてきましたが、変化する現代社会において、新たな課題や葛藤も多くなっています。

本研修は、香川県における「社会的ひきこもり」の現状と課題、ひきこもりサポーター事業の実際を学んだ上で、地域における支援の在り方などを通して、当事者や当事者家族に寄り添った支援とはどのようなものなのか、改めて精神保健福祉士としてかかわりについて捉え直す機会とします。2回の連続研修です。奮ってご参加ください。

問い合わせ先

【協会事務局】

地域活動支援センタークリマ 上杉

住所：〒761-0123高松市牟礼町原883-16

電話：087-845-0335

【研修部連絡先】

竜雲メンタルクリニック 山下

住所：〒761-8075高松市多肥下町466

電話：087-840-0735

研修日程

①12月8日（金）19：30～21：00

講演：香川県における「ひきこもり」
の現状と支援の課題

講師：香川県障害福祉課

大島 理子氏

ペアレントメンターかがわ理事・

ひきこもりサポーター

秋山 輝美氏

②12月22日（金）19：30～21：00

演習グループワーク

「社会的ひきこもり」支援を通し精神
保健福祉士としてのかかわりを捉え直す